

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当 部署	部局名	教育委員会		
	課名	学校給食センター		
	係名	庶務係		
	記入者	大橋 豊	電話(内線)	32-1010

1. 事業の概要				
(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	計画 予算	学校給食食品検査事業
				(3) 事業の 優先度
				C
(4) 総合計画での位置づけ			(6) 事業主体	市
① 事業の区分	一般事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質 一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	41205 (総合計画掲載 ^ハ -ゾ ^ニ)			会計区分 一般会計
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分 市単独
基本施策	1 生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)			予算科目 款 10 項 6 目 3
施策	安心して学べる学校づくりの推進			予算書上の 事業名称 学校給食センター運営管理経費 (予算書 ^ハ -ゾ ^ニ に掲載)
施策内容	安全で安心な給食の安定的な供給			
(5) 事業期間	開始 24 年 4 月から 終了 年 月まで (力年)	(8) 事務分類		自治事務
		根拠法令		学校給食基本法

2. 事業の目的及び内容	
(1) 対象者(だれを・何を)	(3) 事業内容(具体的に何をを行うのか、そのために何をを行うのか)
児童(2,805人), 生徒(1,385人), 教職員(304人)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の衛生検査としてふき取り検査を強化し、調理作業中、調理終了後の衛生管理の徹底を図る。18項目/年3回 野菜の洗浄状態、生肉の菌汚染状態、加熱殺菌した調理品の微生物検査を強化し安全の再確認を行う。生肉1検体6項目/年3回 野菜4検体5項目/年3回 冷凍食品2検体5項目/年3回 給食丸ごとの放射能測定を実施し児童生徒の内部被ばくを阻止する。セシウム134,137 2項目/年3回
(2) めざす姿(どのような状態にしたいのか・意図)	<p>■ 事業の全体計画(※計画等がある場合、H24年度末時点で記入)</p> <p>・総事業費 千円 ・進捗率 %</p>
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など(※1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし)	

3. 事業コスト及び改善措置						
行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映
実施計画						
● 予算内訳	事業内容	実績・決算額(千円)	予算額(千円)	計画額・見込額(千円)		
		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
(1) 事務事業費の コスト	食品及び調理場衛生検査委託料	648	591	700	700	700
	合計	648	591	700	700	700
	財源					
国庫支出金(千円)						
県支出金(千円)						
地方債(千円)						
その他特定財源(千円)						
一般財源(千円)	648	591	700	700	700	
合計(千円)	648	591	700	700	700	
補助・起債制度名						

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

食品検査による陽性反応や放射能により汚染された食材の使用を未然に防ぐため、徹底した衛生管理による二次汚染防止と食品の産地厳選を行い児童生徒に安全な給食を提供する。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	食品検査実施数	目標値	検体		96	96	96	96
		実績(見込)値		96	96			
	放射能測定実施数	目標値	検体		160	130	90	45
		実績(見込)値		205	160			
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目	評価の指標	客観的評価点及び評価理由
1. 目的妥当性	①事業の必要性,緊急度は高いですか？	5 ますます必要性は高くなっている(または、緊急性が極めて高い)
	②行政が実施すべき事業ですか？	4 法的な問題などがあり、行政がやるべき事業である
	③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している
13 A	補足 ②衛生管理の徹底を図り二次汚染を防止するうえで、また、食中毒など重大な出来事が発生した場合の迅速な対応、責任の所在を明確にするうえでも行政が実施すべき事業である。	
2. 効率性	④事業の手段(やり方)は適切ですか？	4 現在のやり方が一般的であり、特に問題はない
	⑤コスト効率,人員効率は高まっていますか？	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている)
8 A	補足	
3. 有効性	⑥活動指標, 成果指標は達成されていますか？(指標達成度)	4 概ね目標水準に達している
	⑦事業の成果の進捗は順調ですか？(進捗度)	3 ある程度進んでいる
	⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)	4 基本施策への効果が高まる, または基本施策の効率化が図れる
11 A	補足 ⑦事業費の増加を伴うが、衛生管理の徹底, また、二次汚染の防止を図り安全な安心できる学校給食を実施するうえで必要である。	
4. 総合評価	事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。	
32 / 40	[5×8項目]	
5. 対応策・提言等	この事業をどのように改善・改革をしていきますか？	
	平成25年度 [事業実施段階 における改善点]	食品検査による陽性反応や放射能により汚染された食材の使用を未然に防ぐため、徹底した衛生管理による二次汚染防止と食品の産地厳選を行い児童生徒に安全な給食を提供する。
	平成26~28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]	食品検査による陽性反応や放射能により汚染された食材の使用を未然に防ぐため、徹底した衛生管理による二次汚染防止と食品の産地厳選を行い児童生徒に安全な給食を提供する。

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	将来を担う児童生徒の健全育成に欠かせない事業であり、食中毒の防止と内部被ばくを最大限防ぐため、より一層の検査強化を図り安全・安心な学校給食の提供を推進する。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		上記評価のとおり